

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	平成23年度第3回河芸地区地域審議会
2. 開催日時	平成24年3月2日(金) 午後2時から午後4時30分まで
3. 開催場所	河芸総合支所3階庁議室
4. 出席した者の氏名	(河芸地区地域審議会委員) 上田美保子、内山 則夫、柏葉 博、松田 柳一、 篠木 幸一、清水 有美、須田 純正、中條 登 野島 康弘、長谷川正廣、濱上のぶ子、濱口 義徳、 前田 紀男 (事務局) 津市長 前葉 泰幸 河芸総合支所長 南浦 康人 副総合支所長兼地域振興課長 増川 二郎 地域支援員 谷中 憲 地域振興課主査 林 美佳 河芸地区特産品開発研究会会長 中川 晴美 河芸地区特産品開発研究会副会長 飯場 英子 河芸地区特産品開発研究会部会長 行方 幸子
5. 内容	協議事項 (1) 道の駅・特産品開発事業について (2) 河芸地域の課題について
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	1人
8. 担当	河芸総合支所地域振興課地域振興担当 電話番号 059-244-1700 E-mail <a href="mailto:244-1700@city.tsu.lg.jp">244-1700@city.tsu.lg.jp</a>

9. 議事の内容 (下記のとおり)

---

増川地域振興課長

皆様お揃いですので、ただいまから本年度第3回河芸地区地域審議会を始めたいと思います。

委員の皆様には、公私ご多忙の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

会議に先立ち、皆様におことわりさせていただきます。会議は、地域審議会の設置に関する協議第9条第8項に基づき原則公開となっております。したがって、本日の会議は公開で行わせていただきます。そして、津市地域審議会運営規則第2条第1項により本日の会議につきまして、市ホームページに掲載し、住民の皆様にご周知させていただきます。

また、本日の会議につきまして、会議録を調製いたしますが、お配りいたしました資料共々原則公開となっております。また、委員のご発言につきましても委員名を入れて作成することとなりますので、ご承知ください。

なお、伊藤委員さん、小黒委員さんにつきましては事前に欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。

地域審議会の設置に関する協議第9条第5項によりまして、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、会長の方で会議をお進めいただきたいと存じます。

#### 内山会長

本日は足もとの悪い中、また3月に入ってお忙しい中皆様方にはご出席いただきありがとうございます。会議を進めるにあたりまして、本日は大変お忙しい中を前葉市長におこしいただいております。市長さんから一言ご挨拶いただきたいと思っております。

#### 前葉市長

みなさんこんにちは。津市長前葉泰幸でございます。

河芸地区の地域審議会委員の皆様には、2年間の任期の中で多大なご尽力とお時間をいただき、お知恵もいただき地域の事を中心にご議論をいただいておりますことに対しまして、御礼申し上げますとともに敬意を表する次第でございます。

この地域審議会は、地方自治法に基づき設置される非常に格式の高いものでございます。合併したそれぞれの地域において、津地域も含めて10の地域で審議会が設置され、活発に議論されているところです。もちろん私自身は、いろんな形で地域の方とお話させていただく機会があるわけですが、地域審議会が法律に基づくものであって、市長が誰であろうと、どういう政治姿勢であろうとどこにおいても行われていることです。したがって、地域審議会に是非出席させていただいたということよりも、傍聴させていただいてどういうご議論が行わ

れているのかお邪魔してお話を聞きたいなという私自身の発想で、今回お邪魔することにした次第です。従いまして、日程が合わなければ出席することが叶わないわけですが、今日はたまたま昨日開会しました議会が議案調査中でございますので、うまく体が空きまして河芸地域の地域審議会に初めてお邪魔をすることができた次第でございます。

今、地域のことで少し考えておりますことを、1、2分お時間をいただきまして申し上げます。特に地域の課題がさまざまにあります。合併の時にいろいろと議論があった課題がまだまだ残っている。あるいは一部出来たけど、こういうところが不十分だという事柄について各地域においてももちろん地域審議会や総合支所もいろいろな形で市役所の中で話がなされていることでございます。

ところが、なかなか地域においてそれぞれの課題が整理をされるにも関わらず、今一步進まない、あるいは順序が遅れてしまうということがあります。例えば、河芸地域においては、今日は特産品の皆さんもおいでですが、これから道の駅を作っていくわけですが、他にも課題として幾つか残っていることがあるわけですが、それを推進していく力が欲しいということでございます。最初は河芸総合支所にもっと権限と財源を下していくという議論が河芸に限らずだぶなされたわけですが、私はただ権限や財源を最先端の総合支所に渡していくというよりも、むしろその地域の課題を住民の皆さんと一緒に実現していく方向で総合支所が動くということで、地域の立場に立った総合支所づくりを掲げておりました。ただ、それはかなり早い段階から河芸で特にそういう知恵もいただいたりしておりましたので、お話をしておりましたが、具体的にどうやるかというところがなかなか難しい。簡単ではないということで、完全ではないと思いますが、手始めに4月1日から地域政策課という課を本庁の中に設置します。この課は徹底的に地域の立場に立って仕事をする、本庁の中にありながら具体的には総合支所の本庁出先機関みたいな感じです。9つの総合支所が本庁に出先を持っているという、それが地域政策課だとそういうイメージにしたいと思っております。その職員は、すべて総合支所の立場で本庁の中で仕事をするという、例えば南浦支所長が何にか河芸の課題を持ってこられた、それを地域政策課長のところが一緒になってそれを何とか実現しようとして本庁の中を泳ぎまわって、一つ一つ実現していくというようなイメージの課にしたいと思っております。これがどれだけ機能するのか、あるいはこれで十分なのかということは、まだまだやってみないと分かりません。十分でなければ次の手を

打っていきたいと思いますので、とりあえずこの新しい地域政策課は、本庁における総合支所の出先機関という風にとらえていただいて、一度この4月以降動かしてみたいと思っております。地域における課題は様々ございます。私もまだまだ十分に理解していないあるいは捉えていないあるいは一度何かの機会に市長に話したことを忘れていたというようなことがあるかも知れません。

そこで、もう一つ、地域連携推進室というものを設置いたします。これは市民部の中に置きます。先ほどの地域政策課は政策財務部の中に置き、今の地域振興室に代わるものとなりますが、地域連携推進室は、市民部の市民交流課がやっております自治会との窓口、あるいは地域における対話と連携ということは私が様々な形で進めさせていただいております市政懇談会などもすべてこの室が担当いたしまして、窓口になり、この室は決定的に地域における課題や自治会における課題をすべて受け止めて早く答えをお返ししていく、そういう事をやる組織にいたします。

この2つの組織を今回作り上げることによって、より少しでも地域住民の皆さんの身近で、ご要望を少しでも早く実現できる体制を整えてまいりたいと思っております。まだまだ不十分ではございますが、とりあえずこのような形で動かしていきたいという風に思っておりますのでよろしく願いをいたします。

最後になりました。この河芸地域の審議会でご議論いただいていることは、私も議事録を読ませていただいて大体承知しているつもりでございますが、今日は現場へ参らせていただいた機会でございますので、皆様の生の声を聞かせていただきたいと思っております。また、私が積極的に議論に参加させていただくということはしませんが、会長のお裁きで何か私がお応えすべき、あるいは何らか市長に確認しておかなければと発言を促された場合は、遠慮なく発言させていただきたいと思っておりますので、そのように御取り計らいいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

内山会長

市長さんから大変重要なお話をお聞かせいただきまして、ありがとうございました。

それでは、第3回河芸地区地域審議会を開催させていただきます。

本日の出席委員は、13名です。2分の1以上の委員の出席がありますので、地域審議会の設置に関する協議第9条第4項の規定により、

会議は成立いたします。

先ず、本日の会議につきましては、津市地域審議会運営規則第5条の規定により、会議録を作ることとなります。同条第2項によりまして、その会議録にお二人の署名が必要となり、議長がお二人を指名することとなっておりますので、指名させていただきたいと思っております。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。本日の会議につきましては、野島委員と濱口委員といたします。よろしくようお願い申し上げます。それでは、本日の議題に入らせていただきます。

お手元に事項書が配布されておりますが、これに基づきまして進めますので、ご協力の程よろしくお願いいたしたいと思っております。

本日の議題の一つ目は、道の駅・特産品開発事業についてです。前回も研究会の皆さんによりまして試食会がなされたわけですが、今回もまた新しい商品をお考えいただいております。早速、特産品開発研究会の皆さんに新しい商品をご紹介いただいて、賞味をしていただき委員の皆さん方の感想なりご意見をいただくということにさせていただきたいと思っております。早速でございますが、特産品開発研究会の皆さんにはご準備いただきお進めいただきたいと思っております。よろしくお願いいたしたいと思っております。

#### 中川河芸特産品開発研究会会長

それでは、私の方から今日のメニューについてご説明させていただきます。

今回は1品ずつではなく、全部お出しさせていただきます。巻き寿司、イワシ寿司は野菜寿司という風にとらえていただきたいと思います。イワシ寿司は豊津地域の方達からのご要望がございましたので、作らせていただきました。すべてに関して、黒田米をメインに使っております。甘酒から和菓子に至るまで黒田米を入れてあります。甘酒の麴も黒田米を使ったものを使用しています。もち米もうるち米も黒田米です。あと中に入っている野菜も、河芸産直部会で生産販売されているものをすべてに使っております。前回、黒田米を使ったものに関して、皆様からご意見をいただきましたので、お寿司という形になっておりますが、3月ですので、時期のものをということでお寿司を作らせていただきました。あと、横についているお漬物ですが、これも河芸産直部会の方で、ハリハリ漬に合う大根を作って、それを丸干ししてそれから漬けております。すべて河芸産直部会で扱っている商品で作らせていただきました。

ハリハリ漬用の大根は、少し細くて水分が少な目です。

甘酒に関しましては一切お砂糖を使用しておりません。甘酒のお米から発酵麹菌とお米の味で作ってあります。特徴といたしまして、甘酒の中にちょっと黒いものが入っていると思いますが、これは河芸産直部会販売の黒米を使わせていただきました。

寿司に関しては、試食していただきやすいようにこういう形になっておりますが、本当は四角い形のものを作ったのですがあまりにも沢山になるとご飯ものばかりでおなかがいっぱいになるかと思いましたが、こういう形になりました。

和菓子の上に乗っている金柑の甘露煮ですが、わずかなものですが、これらも手作りで作ったものです。

どれからでも結構ですので、ご賞味ください。

お寿司の中に入っている緑のものはわさび菜といいまして、それだけで食べていただくとわさびの味がする菜です。3、4年前から産直で販売しています。ここ2年くらいはスーパーなどの産直コーナーでも見るようになりました。

(巻きずし、イワシずし、甘酒、和菓子、漬物 試食)

中條委員

ちょっとよろしいですか。巻き寿司ですが、見た目はものすごくいいです。味も良かったです。しかしながら崩れてしまうのです。これをもう少し小さくするとか、何かいい方法はないですか。

中川河芸特産品開発研究会会長

ちらし寿司の方がよろしかったでしょうか。

中條委員

その方がいいような気もしたし、確かに見た目が大変良かったので食べる時の崩れが気になって、道の駅で販売して車の中で食べた時は車の中が汚れるかと思えます。

中川河芸特産品開発研究会会長

今日はちょっと握り方がゆるかった気がします。

中條委員

イワシ寿司については、見た目ではお寿司に丸みがかっていますが、もう少し小さくしてはどうですか。

中川河芸特産品開発研究会会長

今回は試食ということで丸く握らせていただきましたが、製品にする時には考えたいと思います。

中條委員

イワシのおすしには海苔が合うかどうか分かりませんが、海苔を巻いていただくというのはどうですか。今回のイワシ寿司の味は、大変美味しいと思います。

中川河芸特産品開発研究会会長

ありがとうございます。

内山会長

皆さん、率直なご意見や感想をお願いいたします。

濱口委員

柿の葉寿司というのをご存知ですか。そのような格好にしてはいかがですか。イワシを片身にせずに斜めに削いで薄い昆布を上に乗せるとか、箱ずしにした方が食べやすいですよ。一口ずつならよろしいが、相当大きな口の人じゃないと難しいと思います。イワシは削いで、四角にして、昆布とか生姜とかを乗せた方がいいのではないかと思います。めはり寿司みたいにするとか、ちょっと工夫が必要ですね。

中川河芸特産品開発研究会会長

いつも参考にさせていただいています。ありがとうございます。

濱上委員

このイワシ寿司に乗っているのは生姜ですね。

中川河芸特産品開発研究会会長

はい。そうです。

中條委員

人それぞれ味や好みが違います、漬物はすごく美味しいです。

中川河芸特産品開発研究会会長

大根に自信を持っております。

篠木委員

前回は試食させていただきました。今回は、前回よりも非常に味の方が優れております。

中川河芸特産品開発研究会会長

1月2月と毎週のように、寿司飯をどのような味にするか研究しました。

篠木委員

かなり研究や勉強をされたと思います。もう少し巻き寿司も細めでいいと思います。それから、イワシ寿司も小さいめで一口で食べられる方がいいと思います。商品化していただいたら評判になると思います。河芸の名産ということでどうでしょう。

内山会長

ありがとうございます。他に何かございませんか。

上田委員

美味しくいただきました。ありがとうございます。

巻き寿司ですが、お野菜の芯の青いものですが、地域の特産でしかも季節感があるもので菜の花なんか入れていただいたらいいかなと思いました。

それからイワシ寿司の方ですが、このイワシは単品でも美味しくいただきましたので、単品でも売ったらどうかと思いました。

ハリハリ漬も美味しくいただきましたし、この葉蘭で作られた舟はプラスチックが使われるよりも皆さんに喜ばれると思いますので、こういうことも取り入れていただけたら嬉しいと思います。

内山会長

他に何かございませんか。



#### 清水委員

作られた方と少しお話をさせていただきましたが、巻き寿司の中のごぼうはとても美味しいと思いました。ごぼうだけでも食べたいと思ったのですが、わさびの葉というものをに入れてもらったものが固まっているところだと食感で青臭さを感じるので、もっと細かく切るか量を少なくして固まらないように混ぜ込んだりしてもらった方がいいかと思います。ピリッとするものの量が多いと味がぼやけてしまってお寿司でなくなってしまうと思います。

和菓子については、せっかく真中に金柑の甘露煮が置いてもらっているので、生地にも風味がつく様に入れてもらった方が食べた時にあんこの味と両方の味がして、上に乗っているものの味が強調されるのではないかと思います。

甘酒は、私には生姜が苦いと思ったので、お店に出す時は、タッパーなどに入れて購入者自身の好みに合わせて調節できる方がいいと思います。ごちそうさまでした。

#### 内山会長

その他ございませんか。

#### 柏葉委員

河芸の特産品となると、コンスタントに春夏秋冬か先ほど言われたように旬のものを出していくのかはっきりしないと、例えば1年中同じものをというのは非常に難しい。収穫量など年中あるのかという話になってきますが、そこら辺をどう考えていくのかという事が店を出す上では大きいと思います。産品で年中同じものを出すのも一つの方法だと思いますが、どういう風に考えているのかお聞きしたいのです。

#### 中川河芸特産品開発研究会会長

野菜自体は四季折々のものになってきますので、年間通して確実なのは黒田米だと思っております。ごぼうに関しても、夏以外でしょうか。産直部会の会長さんお願いします。

#### 須田委員

皆さんから色々ご意見をいただいた中で、特産品にするにあたって、私の仕事は何を作ったらいいかという事を考えていました。まずは米を作らないと、ごぼうもおいしいと言われたのでごぼうも、葉蘭

もお褒めいただきましたので山の木漏れ日のところに植えて来なければいけない、金柑はもうすでに下準備でこの前植えました。生姜、ハリハリ漬の大根も好評でしたので、なんとかやっていかないと考えておりました。

四季折々の物をやっていくというのが一つと、あそこにはあれがあるよという一品、二つ兼ねられたらいいですが、どこの料理屋に行っても四季というのが添えにあります。今で言ったら藪椿のつぼみとかを添えたりして、そういった事でも楽しめたらいいなと思ってメモしております。

#### 内山会長

私はイワシ寿司について非常に興味を持っているのです。というのは農林省に在職中、東海農政局にいた時に三重県の物産展をロビーでしました。その時サンマの姿寿司を尾鷲の方から持ってきていただいたのです。切って出すのではなくて、一匹丸ごとが真っ先に売れました。やっぱり三重県の寿司といえばサンマの姿寿司が非常に人気で、すぐに売り切れたという印象が残っています。したがって、イワシ寿司は春と秋、秋が旬ですかね。これをお持ち帰りいただくとか弁当にするとかということ、かなり人気が出る商品ではないかと思っています。ただ、作るのが大変で、日持ちをどうするかという問題もあろうかと思えます。奈良の吉野の方に行くところ承知のとおり柿の葉寿司があります。あれはサバを柿の葉でくるんで柿の葉には殺菌作用があるので保存食として売って、非常に人気が高い特産物になっているわけです。そういったことも合わせると、イワシ寿司がヒット商品になるのかなと考えているのですが、いかがでしょうか。

#### 濱口委員

伊勢湾で獲れたイワシは寿司になりません。ご存知ですか。養殖場のハマチのえさです。三河湾のイワシでないと商品になりません。酢を相当きつくしないといけません。今回は魚屋で求めていると思いますが、おそらく伊勢湾で獲れたイワシではないです。40年前は小イワシでおいしい寿司ができたのですが。

#### 中川河芸特産品開発研究会会長

漁協の方ではイワシを獲っていただくことはできないでしょうか。

野島委員

反対だと思います。昨年はイワシ漁の漁獲高があったのですが地元で消費されなかった。みんな東京送りです。というのは、千葉などがイワシの産地ですが、それ以上に伊勢湾のイワシの方が味が良かったという事で千葉の方が売れなくなったのです。三重県産と言うだけで、値打ちが出たのです。イワシは伊勢湾に入ってきます。伊勢湾で成長したイワシは脂ののりが全然違います。

篠木委員

今年の秋はかなり伊勢湾でイワシがあがりました。伊勢湾の物は脂がのって脂肪分が多くて美味しいのです。

濱口委員

美味しいのは分かる。

野島委員

それを寿司にした状態で美味しいかどうかは分かりませんが。

濱口委員

脂がのっているのが寿司になるかどうかということです。

野島委員

刺身にするのが一番よく分かります。

篠木委員

今はイワシでもトロイワシ、サンマでもトロサンマなどなんでもトロをつけるのです。

濱口委員

紀州のサンマは落ちサンマだから、脂はありません。イワシも脂がのっているものを煮付料理にしたら美味しいですが、寿司になるかどうかは疑問が残ります。

篠木委員

寿司になります。

濱口委員

篠木委員は本職ですから、そう言われるのはそうでしょうが。

内山会長

市長さん、一つ感想をお願いします。

前葉市長

面白く、なるほどと思って聞いていました。どうぞお続けください。

内山会長

その他、何かあったらおっしゃってください。

長谷川委員

今回美味しくいただきました。甘酒もとても美味しかった。

私としては、今ありましたようにこの巻き寿司もキュッと締めてほしい。もう一つは、巻き寿司ですから河芸の海苔を使ってもらいたい。

野島委員

河芸の海苔を使ってもらうのはありがたいが、加工までの段階で漁協は終わりなのです。その後の火入れとか一般の人が食べてもらえる状態にするまでワンステップあるのです。それを考えてもらわないと。新しい海苔を使ってもらったら確かに味はわかると思いますが、二番手三番手になると味が落ちるので、加工した方がいいのではないかと思います。

長谷川委員

黒海苔を使ってほしい。イワシ寿司は私の提案なので、是非成功させてほしいです。今回いただいたものは美味しかったです。おにぎりの上に乗っているだけなので。尾鷲はサンマ寿司、河芸はイワシ寿司でいきたいですが、今回は具とおにぎりという感じなので寿司らしくしてもらいたい。

行方河芸特産品開発研究会部会長

今回おにぎりのようにさせていただいたのは、朝早くから準備をして置いておくということになるとイワシの鮮度が段々落ちてきますので、こちらには保冷剤で持ってきましたが、お寿司の上に乗せておく

わけにはいかなかったわけですが、本当はラップなどで一緒に巻きたかったのですが、もしそれで何かあったらと思って怖くて巻けなかったのです。だからわざと上に乗った風になってしまったのです。

長谷川委員

我々豊津では、まつりに必ずこのイワシ寿司が出ていたわけで、その思いがあるのです。

内山会長

ざるやぶりの時はでないのですか。匂じゃないのですか。

長谷川委員

私が子どもの頃はありました。

内山会長

例えばまつりの時に売り出して、道の駅でざるやぶりに引っかけて売り出すとか、行事を重ねるといいかなと思ったのですが。

長谷川委員

もう一つ、今回は片身ですが一匹開いたものもいいです。

行方河芸特産品開発研究会部会長

この特産品開発研究会に豊津の方がいないのです。今回私が調理しましたが、本当のざるやぶりの時のイワシ味が分からないのです。ですから知らない者が調理をしましたので。

野島委員

まつりの時は、もう少し酔がきつかったように感じます。

長谷川委員

このイワシは少し臭みが残っていると思います。ということは、酔がもう少し効いてもいいのではないかとそんな気がしました。

甘酒は美味しかったです。もう一杯ください。厄年の時に神社で甘酒を出してもらったのですが、いつもと違った味がして良かったです。

ハリハリ漬について、豊津は春大根が有名ですし、昔豊津にあった漬物屋さんがこんな味でした。

和菓子も日持ちしそうで美味しかった。  
イワシ寿司を何とかして成功させるように是非お願いします。

前葉市長

長谷川委員さん、自分たちが食べていたイワシ寿司がどんなのだったか、もう少し言ってもらった方がいいのではないのでしょうか。

長谷川委員

それが。

濱口委員

私が言います。まつり時分に豊津であったのは、箱ずしでイワシではなくてキンカワツでした。イワシは身が厚いから寿司にならない。その時分にはキンカワツは脂が乗っていいわけです。薄いから二枚に開いて酢につけて箱に入れて、柿の葉寿司みたいに詰めて食べたものです。正直言って、イワシの寿司は子どもの頃から食べたことがないので。今はキンカワツがあまり獲れない。カワツとはままかりにするやつです。

野島委員

獲れないことないのです。反論ばかりで嫌なのですが、カワツも獲れるのですが、ただそれを中心に獲っているわけではないので水揚げとしていないが、市場には出ているはずです。市場には、伊勢湾産のカワツなりイワシなりが出ています。

篠木委員

濱口委員さん、カワツは金額が低いのでお金にならないそうです。あまり出まわっていないのですが、岡山の方に行くともまかりを一年中盛んに出しています。あの辺はそれ専門の漁があるのですが、伊勢湾では量が少ないのです。

濱口委員

選別しているから、量が少ないのではありませんか。

野島委員

憶測で物を言うのはやめて下さい。今は、電子機器が発達していて

それをよけることができます。魚の種類も電子機器で判別します。間違いもありますが、イワシならイワシ用の電子機器を使って漁をします。だから、カワツなどはなるべくよけます。

篠木委員

皆さんからいろいろ意見をいただいておりますが、特産品開発研究会の皆さんも大変努力されましてこの試食会になったと思います。あともう少し食品アドバイザーなどとお話をさせていただいて、材料は何でと提案をして、余所の名産品もみんな同じですが大手とか専門家が商品化に持っていくわけです。商品化にはパッケージやデザインとかざるやぶりの寿司とか出ましたが、それらも考えていただきまして河芸の名産品にして、今後地域経済の発展に繋がるようお願いしたいと思えます。

濱上委員

ひとつすいません。これを商品化するとなると、イワシにこだわるわけではないのですが、一年中イワシ寿司を出すことは可能ですか。

篠木委員

はい、可能です。イワシは一年中あります。

濱上委員

では、それだけの量が河芸で補えますか。

篠木委員

河芸では難しいと思えますが、全国にはあります。

濱上委員

今、イワシが結構高めですので、手に入れるのに値段的にはその辺のバランスはどうですか。

篠木委員

河芸の獲れたイワシを急速冷凍保存して、解凍して徐々に使うという方法しかないと思えます。

濱上委員

可能であればいいのですが。

濱口委員

要は値段の問題ですね。

内山会長

小女子の使い方はもっと他に何かございませんか。

篠木委員

まあ、くぎ煮でしょうか。今年は本城山でくぎ煮を売ってもらったのですが、かなり売れました。

内山会長

あれは人気が高いでしょう。特産品として出せるのではないかと思います。

篠木委員

私のところはそういう風にさせていただけたらと思っております。設備はあります。

内山会長

河芸の道の駅に来て、お土産として広まればいいと思います。

濱口委員

昭和45年に河芸に来た時に、明石で教えてもらって初めにくぎ煮を炊いたのは私です。私が明石で聞いてきて皆さんに広めたのです。

松田委員

甘酒ですが、この古代米の黒いのが入っていると、余所の人が来た時にこれはおかしいという風になりませんか。その辺の表示をきちんとすればいいと思いますが、ちょっと心配です。

内山会長

一通りいろんなご意見や感想をいただきましたが、この際何か他にご意見がありましたら、いかがですか。



それでは時間の都合もありますので、この辺で、今後道の駅の商品についてどんなものがあるのか更にご研究いただきまして、進めていただくということでよろしくお願い申し上げます。終わらせていただきしたいと思います。ありがとうございました。

それでは、ここで5分間ほど休憩を入れさせていただきます。後段の河芸地域の課題についてというテーマに入らせていただきたいと思います。

(休 憩)

内山会長

それでは、審議事項の二つ目、河芸地域の課題について意見交換をお願いしたいと思います。

本日は市長さんにお越し頂いておりますが、一人2・3分程度という感じで、須田委員さんから順番に日頃感じておられる河芸地域の課題についての考え方や、問題点等につきましてご発言をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

須田委員

本日は市長さん大変お忙しい中、ありがとうございます。

先ほどからいろいろとお話させていただいておりますが、前々からの懸案事項もあります。時代が悪く不景気で、昔から大波小波があったと思いますが、年金問題や他の問題が山積しています。その中で河芸は津市という大きな合併をして、津市の北の端に位置しますので、三重県という中で伊勢、鳥羽、志摩、松阪など全国的に有名なところもありますが、その中で津はイメージが薄いような感じがします。やっぱり北の玄関として、通過する津ではなくて、立ち止まる津にするにはどうしたらいいかということで、道の駅をお願いしたいと前々から言っております。

それと、山と海が近いので、山と海の幸を一緒にしたいというのが地元のテーマでもありますので、これらもよろしくお願いしたいと思います。

また、地元としては昔からの土地や農地、農地と一言に申しましても、山を畑にしても土が駄目なので、土を作るには100年や200年で出来るものではございませんし、また荒れてしまうと2年3年で失ってしまいます。だから、今あるそれらの土地を大事にしたいと思って

います。千円の野菜が売れずに、1日家にこもって、こたつに入りTVを見てお菓子を食べて千円使うのでは意味がない。野菜は儲からないかも知れないが、お金を使わないのも一つの方法で、高齢者も医者参りするより畑参りしようじゃないかと呼びかけて、健康の面でも1日1日野菜が成長するのも見るのも楽しみだし、野菜作りはいいと思います。見た目はともかく、安全なおいしいものを食べていただくということを考えると消費者のメリットは大きいと思います。

あと、景気が悪く、無駄遣いが増える。早寝早起が一番無駄なく節約できると考えます。電気代は安くなる、油を使わない、朝早く出ると道が空いていて事故がない、仕事の能率も上がるので悪いところなしです。津市を早寝早起の町にしていきたいと思います。

#### 中條委員

地域審議会に入って2年目ということで、河芸町で今直面しているのは、千里ヶ丘地区だけでなく津市全体でも高齢化率が40%台になるのかと思っております。千里ヶ丘は団地なので、四日市や名古屋、伊勢まで勤めに行く人もいるわけですが、45年も経って高齢化になってきて空き地も目立つようになりました。高齢化で孤立死の問題についても福祉の関係ですが、市を挙げてその問題についての取り組みをお願いしたいと思います。地元は旧村ではなく団地ですが、模索してやっております。どこの地区でも同じような状態だと思いますので、皆さん方のお力をお借りして、市政の方でも孤立防止の呼び掛けや援助等をいただきたいと思います。

#### 野島委員

河芸漁協の代表として来ています。後継者の問題があります。私は50歳代になったばかりですが、私より下が5、6人いるだけで、漁師を育てるのに最低でも10年15年はかかります。教えるにも私達で最低限度の年齢だと思います。それ以上の年齢だと昔の漁法が入ってくるので難しいと思います。市や県からもご協力いただいて、若い人を漁協の方に入れられるような体制づくりをお願いしたいと思います。3年や5年で伊勢の海名古屋口まで走らすことは、到底無理です。それらを教えるのに時間がかかりますので、急がないと私達の覚えてきた能力が無くなってまいります。電子機器の操作と勘が活かせる間に次の世代に渡してやりたいと思います。市長さんの方も協力していただきたいと思います。

## 長谷川委員

市長の挨拶の中にありましたように、各地域の活性化、権限と財源に対しての地域政策課、地域連携推進室を是非進めてもらいたいと思います。私の長年の念願でありまして、地域の活性化、活力が出てきたら津市はもっと発展するかと思います。

あと、お江の関係で去年は我々ボランティアガイドが皆様に大変お世話になりました。これからどんな形でやっていくかが大きな課題かと思っております。またご支援の方よろしくお願ひします。

豊津地区は海岸に面しており、3.11以降にいろいろな問題が出ておりますが、海拔が低いので、避難場所や避難経路等どうやって進めていくかが一番の大きな課題だと思ひます。

市長もご承知の通り、一色は無形文化財のざるやぶりが行われていますが、これも高齢化の時代になってきておりますので、昔は青年団が180人くらいいましたが、今は地域では手に負えなくなって市内外、県内外から来てもらってやっと120人くらいの集団が集まるようになってきました。これからどんな形でPRしていこうかと総合支所ともお話ししながら、出来たら早い時期にざるやぶりのパンフレットを作成しようと考えています。道の駅にもということで、豊津上野駅から八雲神社等々まわる酒蔵巡りツアーが年2、3回あり、その時に神社に多くの方が参拝される際にお渡ししたいので、また是非皆さんのお知恵をお借りしたいと思っております。

本日、道の駅に出す特産品を試食させていただきましたが、私としては道の駅の構想がよく分かっていません。例えば農産物や海産物はどれくらいかなどはつきり見えてこないもので、出来たら早くお教えいただきたいと思ひます。河芸の特産を有効に活用していただきたいと思っております。

もう一点は海岸清掃のことですが、台風12号によりまして豊津上野海岸に多くの流木等が流れてきました。豊津地区としましては、一色中別保それぞれの有志の皆さんが1月から清掃しました。きれいな海岸になったわけですが、今進めていることは松を時々植えて、我々が子どもの時に遊んだ美しい海岸に戻していきたいと思ひます。

## 濱上委員

民生委員の河芸地区の副会長をさせていただいております。いろいろ先ほどから出てきておりますが、高齢化になっておりますので、正直なところ昔に比べ仕事量も増えてきております。出来る範囲でしか

出来ないので、みんなそれぞれ頑張っているわけですが、私達はあくまでもパイプ役ですので行政と訪問先の方とうまく気持ちを繋げ、社協の協力を得てやっておりますが、なかなかうまく動いていただけません。それにはそれぞれに問題点や枠があろうかと思えます。これも縦社会で組織ですので、担当させていただいている訪問先の高齢者の方には行政はここまでしかできませんとお伝えしても、なかなかマッチし難い。それは当然だと思えますが、高齢者の方にすれば困っていることを助けていただくのがあなたたちの仕事だと言われたらそう思いますが、私達も出来る範囲に限界があります。それは伝えますが、伝えて動いていただくのは行政なので、結果は聞きに行きますがその辺もやはり限界があります。うまく回るものと回らないものがあります。行政の枠を緩和していただけるのかというのがあります。行政を越えて直接トップに言っていけるものであれば申し上げに行きますが、行政を責めることになるので気持ちはあってもなかなか踏み出しにくいので、悶々としたものを皆抱えています。会長と私で行政の窓口に行かせていただくのですが、そこでストップしてしまいます。その辺のもどかしさをずっと抱えているのですが、ちょっとその辺りを市長さんの方に届いてそれが県の方に届くと、三重県としても全国的に民生委員の仕事が動きやすくなるのではないかと個人的には思います。壁がありますので。

それと、民生委員になっていただく方が非常に少ない。いろいろ問題があります。昔と違って今はなり手が無いというのも、人間関係や事情があると思えますが、選んでなっただく方にも問題があります。それなりに自治会長が任命するわけですが、自治会長と民生委員を兼ねている方も多くいらっしゃいます。仕事を両方していただくことは大変なことです。行政の方に伺うと、自治会長と民生委員と兼ねてはいけないというのほどこにもないので言えないと言われたのですが、自治会長の立場は大変な仕事だと思うので、それを兼ねるとなると問題が生じます。守秘義務、個人情報保護法が出ましたので、その辺りで皆さんに情報を出せば助かる命もそれで決められてしまって助けられないということが起きています。これも各民生委員の判断で、情報をここまでは出して守ってもらおうと判断する方と、やはり出してはいけないと判断される方、これらは個人の判断なのです。その辺りも非常に壁になって難しいのです。それらの情報の使い方個人判断で、自治会長であり民生委員である方がきちっとして使っただくと問題は起きないですが、使い方により問題も起きていますので、

自治会長と民生委員の仕事を両方お持ちになるというのは、時間的にも労力など非常に難しいと思いますので、国で決まっていることだと思いますが、なんとか出来るだけ兼任しない方向に検討していただけたら非常にありがたいと思います。

#### 濱口委員

河芸町の老人クラブ連合会の会長をしております。少子高齢化ともはやされた時代も過去のものとなっております、最近では子ども1人に対して老人は1.9倍もお金を使っていると批判的になっているような現状でございます。老人会という組織が滅亡の危機に瀕しているという状況で、平成20年度から3年間で40%、65歳で老人会入会の資格となっておりますが、団塊の世代が入っていただけでない。ゼロに等しいので減少の一途をたどっています。助成金は人数によっていただいております。それによって行事を行っており、会員が少ないと助成金も少なくなる。年間行事そのものは会員が多かった時も少なくなった時も同じことをやっております。行事が貧弱になってくると参加率が悪くなっていく。そういったことが年々蓄積されてきて、団塊の世代の物の考え方と、昭和一けたの老人の考え方の大差が問題となっております。1月に全国大会が東京でありまして、この事を申し上げてきました。どこでも同じです。25年前は、年配の方の意見は絶対だったのですが、今の世代は権利主張はするが責任を持たない。そのような状況を認識していただきたい。

もう一つ、私は40年ほどふるさとを離れていまして帰ってきてからいろいろな組織の中に入り、微力ながら尽くさせていただいておりますが、堤防の廃屋いわば昔の加工業者の納屋が使っていないのにそのまま放置されています。特に豊津の海岸はどうにかならないのかということで、10数年前から合併前から取り組んだのですが、いろいろと弊害がある。浜洲においては、県管理、市管理、国管理のところなど3段階ぐらいあり、いろいろなところで問題提起すると管理が違ふということで責任逃れとか一向に進まない。現に契約されているところは契約解除したらいいと思います。契約条項にいろいろな解除の事項が入っていると思いますが、行使されていない。浜洲の使用料はおいくらだと思いますか市長さん。1㎡あたり27円です。それが平成13年ぐらいに海岸堤防を新しくした時に、廃屋に対して莫大な保証金をもらっているはずですよ。そういう事を知っているのに、使用料を払うくらいなんでもない。国なり行政が工事した時の先行投資

になるので、だれも契約解除しないのです。これを何とかしていただきたいと思います。

あと一つは、無縁社会と3年前から言われていますが、全然実行されていない。話はあっても具体的にひとつも進んでいない。住民台帳みたいなものを作成してほしい。弊害はあるが、昔警察が持っていたようなものがあるといい。最近は近所でもほとんど名前を知らない。勤めや休日には車で外出するためほとんど顔を合わせないし、回覧板や広報を持っていても、ほとんど留守なので郵便受けに入れます。手渡し運動をやっていますが、ご飯時でも老人しかいない。隣近所でありながら交流がない。災害があった時など心配があるので、人権問題もあるので難しいと思いますが、カード式の台帳を作ってもらって利用できるようにしてもらいたい。

#### 前田委員

遊休農地の問題で、水田再編の関係で近隣の農地を歩いたのですが、皆が農業をやめるということで、ただ同然で大型の農機具を売るということでした。千里ヶ丘の下で30haの水田面積がありますが、ほとんど空いていて農業後継者が3人しかいないということなので、これでは農業は無理だと思います。その点、力を入れていただきたいと思っています。

#### 清水委員

朝陽中学校のPTAからこちらに参加させていただいています。子どもの目線や子どもを通してしか河芸町を見たことがなかったので、審議会に参加して、いろんなことがあるのだなと思って毎回帰ります。今日は中学校の通学路について、この間も杜の街の下にコンビニが出来ましたし、ここ最近ではイオンが出来て、通学の道に対して車が多くなってきていると感じています。杜の街からの通学児童は年々増えていますし、伊勢鉄道の高架下の街灯などが少なく夕方帰るのに暗く問題が挙がってきています。出来るところから改善はしてもらっているようですが、前からの問題が解決していないと感じているのは、百五銀行から来た交差点です。23号線の交差点を一つ本城山へ向かってきてもらうとちょうど上野街道から出てきた十字路になり、うちの子も2年くらい前に事故に合っていますが、そこは前から危ない思いをしている子が沢山います。国道を津の方から来て曲がると、自転車が上野街道から中学校を向いて走っているのが見えないのです。毎年

のことながら言っているのです、早いうちに改善をしていただきたいと思います。

久知野にサークルKが出来たことによって明るくはなっていますが、車の出入りが四方から出来るし、坂なので、危ない目もしていますので、学校の方でも止まるように指導はしていますが、何か段を付けるなどの改善をしてもらいたいと思います。中学校の子どもが通るのが危ないということは、一般の人が通るのも危ないということですし、今から道の駅などが出来ると交通量も増えると思いますので、その辺よろしくをお願いします。

#### 篠木委員

農地というか調整区域が河芸町は大変多いと思います。簡単に手がつけられないわけです。イオンは大規模集合開発行為で荒地だった広い土地を造成しました。あれだけで河芸はすごく変わり、市の税収を増やしたと思います。荒地よりも宅地で固定資産税をかけた方がいいのではないかと思います。河芸は網かけが随分残っていますが、アクセスが良く住みよいところなので、河芸に来られる方は多いと思います。その辺、市や県や国の力をいただいております。

もう一点は、NHK大河ドラマで本城山に沢山の人に来ていただきました。大河ドラマ放送の記念碑を建てていただき、今後も本城山の管理を続けていただきたいと思います。荒れて大変だったものが、総合支所の支所長さんや支援員さんをはじめ沢山の方のご協力をいただき綺麗な公園になったわけです。これから桜も咲いてきますので、県内外からや遠方の方も来ていただきます。河芸の名所としてこれからも取り組んでいただきたいと思います。

先ほどから道の駅の話も聞かせていただいておりますが、お願いしたいのは、せつかく特産品を考えていただいているので、道の駅を早期に開設できるような方法を市長さんをお願いしまして、最初は平成26年度開設と聞いていましたが、それが平成27年度になり、最近また見通しが暗いようなことを聞いています。中勢バイパスの三行の方が18日に開通するというので、306号に抜けますし、かなりの人が利用していただけるとと思いますので、国交省との関係もありますが、地元河芸町の経済発展にも繋がりますので、地域住民の憩いの場や災害の避難場所にもいいと思いますので、早急によろしくをお願いしたいと思います。

## 松田委員

上野幼稚園で、お米はスーパーでとれるという話を聞いて驚きました。農業の方にお願ひして、田植えや稲刈り体験を子どもにさせていただきました。今年も5月の3日に田植えをしますが、連休なので親元に帰ってくる際にちょうどいいと思います。これからも指導していきたいと思います。

## 柏葉委員

課題と申しますか、皆さんがおっしゃっているように少子高齢化で、千里ヶ丘は65歳以上が40%を越えます。だんだんパーセンテージが上がって行って、そのうちに50%を超えてしまうのではないかとそういうところがすべての根源になっているのではないかと思います。高齢化が進むことによって、地域コミュニティが崩壊し、自治会活動にしろうまくいかなくなる。合わせて少子化で、地域が活性化しない。これらが大きなすべての問題だと思います。対策としては、4月に市長の後押しでふれあいセンターなるものを開設しましたが、1月2月で約200人来られ、非常にありがたいことだと思っています。

先ほど市長のお話にもあったように、課題が明確になっているにも関わらず具現化が出来ない、それをどのように推進していくのかと言われてきました。それに対する政策をする課の設置や地域と連携する室など、非常に的を射た政策だと思いますし、私としては非常に期待をしたいと思っております。と申しますのは、千里ヶ丘団地の道路の件ですが、さつき通りを曲がって上に抜けて西千里までの新しい道路を今年度から国の予算で工事を始めなければならなくなり、実は最近になって新たに説明会をしました。2、3年前に問題指摘をして住民説明会をしてくださいと依頼し、分かりましたと言われてから放っておかれ、今頃になって慌てて予算を執行しなければならないと。全く連携が取られていないし、職員も変わって引き継ぎがうまくいっていないのではないかと。そういうことで、本当はすんなりいくはずの説明会も紛糾したところでした。問題提起して振動とか騒音とか調べて説明してください、そうすればほほううまくいくでしょうという話を2年前したのですが、その辺の連携や引き継ぎ等の問題を役所の中で見直していただく必要があるのではないかと思います。

持論ですが、少子化で地域が活性化していないことについて、なんとか方法がないかと思ひ、個人のアイデアとしては、三重大学の学生寮や三重短大をこちらに持ってきてもらえないかと思ひます。現在の寮



は、志登茂川が近く津波などの心配がありますが、河芸の千里ヶ丘や杜の街はそういう心配がないのでいかがでしょうか。近くに鈴鹿国際大学もあり、鈴鹿短大もこちらに来るようになっております。そうすると4つの大学の学生が集まり、地域が元気になると思います。若者が集まれば、新しい店も出来るし、いろいろな人も寄ってくるので、地域の活性化に繋がると思います。国と市の関係がありますので、簡単には出来ないと思いますが、そういうところも考えてみたらどうかと思います。

道の駅ですが、近くに日本一とは言いませんがかなり有名な関ドライブインがあります。この地域においては、圧倒的な売り上げだと思えます。あそこを見習って、道の駅に取り入れる方法もあるのではないかと思います。道の駅の主体はどこなのか、どこが運営していくのか、資本力や人材を含めてどうしていくのか、前段での論議は分かりませんがもう少しその辺りを考えていく必要があるのではないかと思います。資本力の大きいところで商品開発も出来るだろうし、そういうところをなんとか取り込むことができないのかと思っております。

#### 上田委員

二つほどお願いいたします。まず一つ目は、豊津上野が津波の危険区域になっていることについて、ハード面での堤防や避難場所を作ることと同時に、その地区に高齢者が何名いて、その中で何名が一人で逃げられるか又は手助けがいるかということ、1年ごとに調べて対応していただけるとありがたいと思います。今なら私も走って逃げることができますが、これから先だと多分一人では逃げられないだろうと思っておりますので、シュミレーションしていただけて対応していただければと思います。

二つ目は、平成21年度までだと思いますが、地域の活性化に繋がる小中学生と地域との連携活動があり、費用が出ておりました。現在は補助がなく、費用がなくても各小学校と地域の方とが連携しながら教育活動を進め、それなりの成果を上げてもらっています。学校で広報をしてもらっていますが、今までのように全戸配布して活動を知っていただくことは、子どもたちの励みにもなりますし、支援していただいている方々の励みにもなります。しいては、地域全体の活性化にも繋がりますので、せめて広報費だけでも出していただけたらありがたいと思います。

## 前葉市長

すいません。次に4時から控えておりました、待たせておりますので今までいただいたところについて、私の受け止めをお話させていただいて、その後失礼させていただきたいと思います。

ありがとうございました。大変熱心に地域のことを考えていただいているということが良く分かりましたので、それぞれ持ちかえらせていただきたいと思います。個別に全部コメントできないのですが、メモある限りで申し上げますと、須田さんの最初おっしゃっている北の玄関口、立ち止まる津にせないかんというのは、その通りだと思いますので、何人かの方から出た道の駅の話も含めて、三行黒田のところがどういう形で北の玄関口らしいところになるかというのが、非常に大きいと思います。今の23号線もそうですが、中勢バイパスのところがポイントになってくる。ところが、逆に心配しているのが、立ち止まってしまって、中勢バイパスがそのまま行き止まりになってしまわないかかなり心配しております、鈴鹿ととにかく早く繋ぐということをかなり強くアピールしております。逆に言うと、鈴鹿工区のところを置いてきぼりになっている感じがあって、今回来週開通するところから先をしっかりやっていただくよう要望しておりますので、それも含めて状況報告をさせていただきたいと思います。

関連して、道の駅ですが、おっしゃる通り、柏葉さんも言われておりますが、ちょっとどういう形でやるのかというのが、こちらは農林水産部で国の方が国土交通省ということで、ややお見合い状態になっているという風に感じておりますので、来年度道の駅をどう動かすのか、河芸総合支所も入って話をしていかないと、それぞれのところがそれぞれ自分達のスケジュールで一步一步進めている感じがあるので、鳥瞰図的に物事を進められるように心配りしていきます。

中條さんがおっしゃった孤立防止のところと、濱上さんがおっしゃった個人情報のこと、濱口さんも防災のところでも要援護者、上田さんもその話をされましたね。みなさんの御心配はよく分かりまして、要援護者名簿約1万人の名簿がやっとできたのですが、これをどう活用していくかということが非常に各地域でバラバラです。自治会長がどこまで個人情報を預かり、適正管理することにサインしないと、個人情報が必要援護者つまり福祉サイドで持っている情報を自治会長に渡せない。自主防災組織も使えないという状態。これはこれでルールなので仕方ないですが、うまくやっていかれるところが、もうすでに出て来つつありますので、そういうところのやり方を広めて、要援護者名

簿を適正に管理されながら防災に役に立っている状態を作っていきたいと思っております。まだ、スタートしたばかりですので、うまくやっているところの情報をきっちりお知らせするようにコントロールしていきます。

濱上さんのおっしゃった、高齢者から見ると民生委員と社会福祉協議会と行政がどこまでどういう風にやるのか非常に見えにくいという話もその通りだと思います。私ども行政もやらない理屈を立てるのは立てやすい部分なのです。正直言って、お見合いというよりも真ん中に落ちてしまうポテンヒットみたいなものがポロポロ出てくる分野なのです。どう解決していくかというのはなかなか難しいのですが、いずれ民生児童委員の皆さんと、社会福祉協議会と行政とが結局よく連携をとってもらうしか方法がないように思っています、これもまたうまくやっていたところとそうでないところ、地区社協も含めていろいろありますので、私的には河芸はうまくやっていたと思っていますが、どうもそうではない面もあるのかも知れませんので、よく話を聞かせていただきます。

#### 濱上委員

結構いい方向に行っていると私も思っております。100ではありませんが、なかなかその辺がお互い遠慮している部分があるかとも思います。やはり、早急さというか機敏さが少し欠けているかなという気がしております。

#### 前葉市長

関連して、長谷川さんがおっしゃった防災の避難場所避難経路の話や、上田さんが最後おっしゃった津波のハード面はもちろんのことどうやって避難するというようなところ、これは、昨日防災リーダーの研修会など開いてもらって津波避難計画を各地域で作っていただこうと動き始めておりますので、これもまたいろんな形で出てきます。これも、私どもがサポートお手伝いをさせていただかないとうまくいかない面もあるでしょうから、また来年度4月から危機管理部の職員を約2倍に増員しまして、今までは二つの課で危機管理課と防災室があったのですが、それぞれもう一つずつ作りまして、2年間だけですが、津波避難計画づくりのサポートをする体制と、地域防災計画を徹底的に見直して是非日本一の防災計画にしよう、日本一使える地域防災計画実践的な防災計画にしよう、この二つの目標を立てて、平成24

年度から防災対応力集中強化年間2年間を設定してやらせていただきますので、しっかりやりたいと思っております。

長谷川さんのパンフレットのお話や、濱口さんの防災や納屋のお話、前田さんのおっしゃった遊休農地、それぞれ大きな問題だと私も認識しています。ただ、納屋の話も、今までもずっと言われていたものがなかなか解決していない。私が市長になったからすぐに解決するということはありません。申し訳ないですけど。ただ、だからと言って手を拱いて見ているつもりはありませんので、南浦からも大体状況は聞いておりますので、どこかのタイミングで、ここという時に何かやらないとなかなかズルズルいってしまうそういう類のものだと認識しております。

濱口委員

私の悲願ですので。

前葉市長

そうだと思いますので、しっかりと考えます。

それから、清水さんがおっしゃった通学路の安全のことは全くおっしゃる通りで、これもうまく伝わっていますか。

南浦総合支所長

はい。コンビニも2月11日に出来ましたので、現場も見に行っています。本城山への道も把握しております。

清水委員

イオンのところも、イオンができた時に行きはイオンの前を通ってもいいが、帰りは反対側の郵便局側を通るように中学校も指導しています。そうすると、イオンから出てくる車と重なることがなく、夕方には郵便局が閉まっているので郵便局への出入りとも重ならない。ただ、イオン側を通ると大変危ないし、旧消防署のところも危ないです。

南浦総合支所長

はい。旧消防署の角のところも事故があつたりして危ないです。

清水委員

あの辺りのことも、小学校の役員をしている頃からずっと言ってい

ますが、全然改善されていない。

中條委員

ちょっといいですか。ただ、中学生の乗り方も悪い。

清水委員

それもありますが、本人に注意してください。

中條委員

注意しています。PTAでも取り組んでください。地域でも交通指導していますので、自転車の乗り方をもっと父兄の方に教えてもらわなければいけない。いくらどうしろこうしろと言っても、事故が起こったらほとんど生徒が悪い場合が多い。

清水委員

上野街道は狭いので、一列でと先生も指導をしているのですが。

中條委員

先生じゃなくて、PTA自体が立ちあがってもらわないといかん。

清水委員

PTAも生活環境部などで、指導で立ってもらったりしています。

中條委員

もっと立って下さい。

清水委員

分かりました。

前葉市長

それから、松田さんの上野幼稚園の話はよく分かりました。

野島さんの漁業者の話ですが、私も若い人も、若者が漁業にどうやって入っていくのかとイメージが湧かないのです。なので、漁協さんともよく相談をしたいと思います。PRみたいな事を、例えば農林水産部になりますが、今の企業誘致等だと一所懸命津市に企業が来てもらえばこうですというようなイメージが湧くような宣伝をホームページ

などで大々的にしています。その漁業のところをもう少し何とかできないかと思います。河芸も白塚もみんな現職の漁業に携わって見える方が大勢いる中で、若い人が入ってこないというのは、非常に大きな問題だと思いますので、これも考えさせていただきます。

すいません。申し訳ないですが、これで失礼させていただきます。今日はありがとうございました。河芸の皆さんが大変熱心に審議して考えて下さっているということがよく分かりましたので、この審議会は今回で任期切れですが、また次の審議会の時も新しいメンバーが来られると思いますが、またお伺いしたいと思います。よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

#### 内山会長

市長さん大変お忙しい中、ありがとうございました。

それでは、一通り二つの課題についての審議が終わりました。事務局の方から何かございますか。

#### 増川地域振興課長

熱心なご討議ありがとうございました。

市長からある程度答えが出たようなものもございましたが、今日出していたいただいたテーマもいろいろ複層しておりましたので、その辺の重点ポイントを絞りながら平成24年度の会議で一つずつテーマ別に皆で検討も加えていただく材料にしていきたいと思います。よろしく願いいたします。

#### 南浦総合支所長

市長が言っておりましたことについて、私も報告してありますが、濱口委員がおっしゃった納屋の件について、前にも少し話させていただいたと思いますが、現在顧問弁護士と相談中でございます。平成18年から28年度まで契約期間が残っております。10年間契約が生きておりますので、契約期間中はなかなか契約解除できないというお話を聞いています。今度の契約の際の平成28年度に、壊れた建物や使っていないところは契約しない方向で検討を進めておりますし、それなりの文章も毎年、この3月も出させてもらいます。震災もあつたことなので、今の納屋のゴミが津波によって堤防を越えますと、けが人も出るかも知れませんが、しっかり対応しておきたいと思っております。水産加工を営んでみえる方や漁師の方のご協力も必要かと思つて

おりますので、しっかりと対応してまいりたいと思っております。

それと、長谷川委員や濱口委員にご苦勞して携わっていただきました海岸清掃ですが、見に行くととてもきれいになっていたのには驚きました。県も非常に喜んでおりました。ありがとうございました。

長谷川委員のおっしゃっていたパンフレットの件ですが、谷中支援員が本庁と随分掛け合い、予算が生涯学習から毎年5万円出ているということで、これ以上は無理ですが、手作りのパンフレットを作れたらと思っております。印刷は役所でなんとか検討して対応したいと思っておりますので、5月頃必要と聞いており時間がなく先に概要を作らないといけませんので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

これから、また何かございましたら、支所にいろいろなご意見いただきまして一緒に考えていきたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。2年間ありがとうございました。

#### 内山会長

それでは、長時間熱心にご審議いただきまして、滞りなく本日の審議を終了することができました。ありがとうございました。

これをもちまして、本年度の審議会は終了ということになります。2年間の任期、皆さま方大変ご苦勞いただきました。改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

これで閉会とさせていただきます。

終了